一橋大学（国立）兼松講堂天井耐震等改修設計業務
技術提案書評価基準

〇技術提案書の提出者を求める者を選定するための基準【1．2】（案）
〇技術提案書を特定するための評価基準【1．2．3．4】（案）

評　価　項　目	評　価　事　項	配点	点数
1．担当予定技術者の能力	①資格	20点	
【配点　65点】	②主要業務の実績	5点	
	③同種又は類似業務の実績	40点	65点
2．技術提案書の提出者の能力	①技術者数	10点	
【配点　35点】	②技術力	10点	
	③主要業務の実績	5点	
	④同種又は類似の実績	10点	35点
中間計（選定判断）			100点
3．業務の実施方針	①業務内容の理解度	20点	
【配点　80点】	②実施方針及び実施手法の妥当性	20点	
	③工程計画の妥当性	20点	
	④技術者配置計画の妥当性	20点	80点
4．課題についての提案	1.. 既存の天井・シャンデリア（意匠含む）を活用した耐震方法について		
【配点240点】	①的確性	20点	
	②独創性	20点	
	③実現性	20点	
	小計	60点	
	2．本業務に係るイニシャルコスト及びランニングコストの低減について		
	①的確性	20点	
	②独創性	20点	
	③実現性	20点	
	小計	60点	240点
	3．本業務による耐震工事に係る仮設及び資材等の搬入計画について		
	①的確性	20点	
	②独創性	20点	
	③実現性	20点	
	小計	60点	
	4．設計開始から工事が完成するまでの具体的な工程計画について		
	①的確性	20点	
	②独創性	20点	
	③実現性	20点	
	小計	60点	
合　　計			420点

評価基準

技術提案書の提出をもとめる者を選定及び特定するための評定事項及び配点

評価項目	評価事項	配点	評価	評価係数	評価点	評価方法
1. 担当予定技術者の能力	①資格及び経験					
	総括技術者	10	A	1.0	10.0	
			B	0.6	6.0	
	主任技術者（建築（意匠））	5	A	1.0	5.0	
			B	0.6	3.0	
	主任技術者（建築（構造））	5	A	1.0	5.0	
			B	0.6	3.0	
	②主要業務の実績	5	A	1.0	5.0	
			B	0.6	3.0	
	③同種又は類似の実績					
	総括技術者					
	件数	10	A	1.0	10.0	
			B	0.6	6.0	
			C	0.2	2.0	
	内容	10	A	1.0	10.0	
			B	0.6	6.0	
	主任技術者（建築（意匠））					
	件数	5	A	1.0	5.0	
			B	0.5	2.5	
			C	0.25	1.25	
	内容	5	A	1.0	5.0	
			B	0.6	3.0	
	主任技術者（建築（構造））					
	件数	5	A	1.0	5.0	
			B	0.5	2.5	
			C	0.25	1.25	
	内容	5	A	1.0	5.0	
			B	0.6	3.0	
	小計	65				

【総括技術者）】

評価	評価内容
A	一級建築士
B	その他資格

【主任技術者（建築（意匠・構造）担当）】

評価	評価内容
A	一級建築士
B	その他資格

評価	評価内容
A	優れている
B	普　　通

（件数）

評価	ポイント
A	2.5以上
B	1.1以上～2.4未満
C	1以下

業務係数	業務内容
1.0	同種業務実績
0.5	類似業務実績

役割係数	役　割
1	総括技術者
0.5	主任技術者
0.25	その他

（※）（業務係数×役割係数）
＋（業務係数×役割係数）
＋（業務係数×役割係数）
＝ ポイント

（内容）

評価	評価内容
A	優れている
B	普　　通

（件数）

評価	ポイント
A	2.5以上
B	1.1以上～2.4未満
C	1以下

業務係数	業務内容
1.0	同種業務実績
0.5	類似業務実績

役割係数	役　割
1	総括技術者 主任技術者
0.5	その他

（※）（業務係数×役割係数）
＋（業務係数×役割係数）
＋（業務係数×役割係数）
＝ ポイント

（内容）

評価	評価内容
A	優れている
B	普　　通

評価基準

評価項目	評価事項	配点	評価	評価係数	評価点	評価方法
2. 技術提案書の提出者の能力	①技術者数	10	A B C	1.0 0.6 0.2	10.0 6.0 2.0	評価／ポイント A／50以上 B／11～50 C／10以下 技術者資格係数／資格 1.0／一級建築士 建築設備士 技術士 技術者資格係数／資格 0.5／その他資格 （※）技術者数×技術者資格係数＝ポイント
	②技術力	10	A B C	1.0 0.6 0.2	10.0 6.0 2.0	評価／ポイント A／0.75以上 B／0.6～0.74 C／0.59以下 （※）評価事項「技術者数」におけるポイント÷技術者数＝ポイント
	③主要業務の実績	5	A B	1.0 0.6	5.0 3.0	評価／評価内容 A／優れている B／普　通
	④同種又は類似の実績					
	件数					
	（建築）	5	A B C	1.0 0.6 0.2	5.0 3.0 1.0	評価／ポイント A／3 B／1以上～3未満 C／1未満 業務係数／業務内容 1.0／同種業務実績 0.5／類似業務実績 （※）業務係数＋業務係数＋業務係数＝ポイント
	内容					
	（建築）	5	A B	1.0 0.6	5.0 3.0	評価／評価内容 A／優れている B／普　通
	小計	35				
中間計（選定判断）		100				

評価基準

評価項目	評価事項	配点	評価	評価係数	評価点	評価方法
3. 業務の実施方針	①業務内容の理解度	20	A	1.0	20.0	
			A－	0.8	16.0	
			B	0.6	12.0	
			B－	0.4	8.0	
			C	0.2	4.0	
	②実施方針及び実施手法の妥当性	20	A	1.0	20.0	
			A－	0.8	16.0	
			B	0.6	12.0	
			B－	0.4	8.0	
			C	0.2	4.0	
	③工程計画の妥当性	20	A	1.0	20.0	
			A－	0.8	16.0	
			B	0.6	12.0	
			B－	0.4	8.0	
			C	0.2	4.0	
	④技術者配置計画の妥当性	20	A	1.0	20.0	
			A－	0.8	16.0	
			B	0.6	12.0	
			B－	0.4	8.0	
			C	0.2	4.0	
	小計	80				
4. 課題についての提案	1. 既存の天井・シャンデリア（意匠含む）を活用した耐震方法について		A	1.0	20.0	
			A－	0.8	16.0	
	①的確性	20	B	0.6	12.0	
			B－	0.4	8.0	
	②独創性	20	C	0.2	4.0	
	③実現性	20				
	小計	60				
	2. 本業務に係るイニシャルコスト及びランニングコストの低減について		A	1.0	20.0	
			A－	0.8	16.0	
	①的確性	20	B	0.6	12.0	
			B－	0.4	8.0	
	②独創性	20	C	0.2	4.0	
	③実現性	20				
	小計	60				

評価	評価内容
A	極めて優れている
A－	優れている
B	普通
B－	やや劣る
C	劣る

評価	評価内容
A	極めて優れている
A－	優れている
B	普通
B－	やや劣る
C	劣る

評価	評価内容
A	極めて優れている
A－	優れている
B	普通
B－	やや劣る
C	劣る

評価基準

評価項目	評価事項	配点	評価	評価係数	評価点	評価方法
	3. 本業務による耐震工事に係る仮設及び資材等の搬入計画について ①的確性 ②独創性 ③実現性	20 20 20	A A－ B B－ C	1.0 0.8 0.6 0.4 0.2	20.0 16.0 12.0 8.0 4.0	評価 / 評価内容 A / 極めて優れている A－ / 優れている B / 普通 B－ / やや劣る C / 劣る
	小計	60				
	4. 設計から工事が完成するまでの具体的な工程計画について ①的確性 ②独創性 ③実現性	20 20 20	A A－ B B－ C	1.0 0.8 0.6 0.4 0.2	20.0 16.0 12.0 8.0 4.0	評価 / 評価内容 A / 極めて優れている A－ / 優れている B / 普通 B－ / やや劣る C / 劣る
	小計	60				
計		240				
合計（特定判断）		420				